

今後の取組の重点

1. 授業力を高めることによる、自立した学習者を育成する組織的な取組の推進

①「2020からの授業づくりハンドブック」「早わかり！単元計画の作成手順」等を活用した実践や研修の充実

・「新大分スタンダード」の質の向上

⇒付けたい力を明確にした単元の指導計画の作成

⇒教師だけでなく子どもも見通しを持てるような単元計画の提示

⇒単元を見通した「めあて」「振り返り」の確実な位置付け

⇒実践事例にもとづいた研修の質の向上（模擬授業、板書写真、授業動画等）等

②家庭学習を含めた1人1台端末の効果的な活用等による指導方法・指導体制の工夫改善

⇒「各教科等の学習過程を踏まえたICT活用ハンドブック」(R3.5更新)の活用

⇒互いの考えを共有するための1人1台端末活用

⇒家庭学習と授業の連動 等

③小学校高学年における教科担任制の推進 ⇒「分かる・楽しい」授業

⇒若手とベテランが協働する交換授業や教材研究

⇒担任をしていない学級の生徒指導・生活指導の共有 等

④「授業力向上アドバイザー」による経験年数の浅い教員への指導支援

⇒単元の指導計画の作成・支援

⇒校内研修への積極的な参画

⇒示範（模擬）授業や授業動画等を活用したそれぞれの課題に応じた指導

⇒対象教員に指導したことが児童生徒の学力に繋がっているかの見取り 等

⑤中学校学力向上対策「3つの提言」のさらなる充実

⇒すべての教科に共通した取組内容を設定する等による組織的な授業改善

⇒教科部会を「3提言」の指導主事訪問と重ねて実施 等

2. Withコロナにおける特別活動や体験的な学習の保障

①自己有用感や達成感を味わわせる活動の工夫

⇒特別活動や体験的な学習における「めあて」「振り返り」の位置付け

⇒効果的・効率的な学びにつなぐための教育課程の見直しや改善 等

②キャリア・ノート等を活用した「目標をもって生きる意欲や態度」の育成

⇒キャリア・ノートの活用場面の設定と年間指導計画への位置付け 等